

【はじめに】

1963年、海部津島青年会議所の前身である津島青年会議所が誕生しました。一昨年には60周年を迎えることができました。今こうして海部津島青年会議所で活動できていること、この歴史を築き上げてこられた先輩諸氏には感謝の念が絶えません。

青年会議所しかないという時代から、様々な団体が誕生し青年会議所もあるという時代に変化しました。人々がまちのことを考え自発的に団体を作り活動していることは、一面としては青年会議所の目指している「明るい豊かな社会」に近づいていると言えるかもしれません。しかし、この地域の明るい豊かな未来のために率先して行動できる人財を育成することを使命とする青年会議所は唯一無二の存在であり他の団体で代替できるものではありません。

全国的に青年会議所のメンバーは減少を続けています。労働人口の減少、経済的状況の変化、価値観の変動など様々な要因が考えられる中、我々青年会議所の運動がまちにとって、より必要なものとなり、多くの市民の共感を集めるものでなくてはなりません。その運動の先に新たな仲間が集い、互いに切磋琢磨し高め合い、さらに地域が発展していくという好循環が生まれるのです。

青年会議所には修練、奉仕、友情という三つの信条があります。その三信条の中でも特に修練の比重が大きくなり過ぎてしまい、メンバーに過剰な負担がかかっている現状もあるように思います。しかし、修練とは活動を通して得ることができる自分や仲間の成長、充実感、達成感を指し、「楽しいもの」であるはずで、それを実感できているメンバーは自然と笑顔が生まれ楽しく活動をしています。

私は、青年会議所に入会し様々な役職や事業を経験してきました。これまでの活動を通して、自らの固定観念の殻を打ち破り、価値観や行動が変容した結果、世界が広がりました。また、自分や仲間の成長を喜ぶことができるようになり、そこにも楽しみを感じることができたからこそ挫けることなくここまで来ることができました。青年会議所に入会するような人間は自分の成長への意欲が高く、まちの将来についても考えられる人間であり、様々なポテンシャルを秘めています。私は海部津島青年会議所メンバーには自分を信じ、あらゆることを楽しみながら、修練に挑むことができるようになっていただきたいと強く願っています。

【ワクワクすることこそ行動の原点】

近年、科学技術の加速度的な進歩により私たちの生活は大きく変化しています。そのスピードは過去、人類が経験したことのない速さであり、私たちを取り巻く環境を大きく変えつつあります。昨年、生成AIであるChatGPTが発表され、世界に激震を与えました。人間の仕事がAIに取って代わられる時代が目前に迫っていることを肌で感じさせる出来事でした。また、ロシア・ウクライナ危機が勃発するなど社会情勢は不安定になりつつあります。子供たちはこのような激流の中を生きていかなければなりません。これからの時代を楽しみながら力強く生きて欲しい。我々はそのための力を育てていかななくてはなりません。

人間に求められる能力とはどのようなもののでしょうか。創造性にあふれるアイデアでしょうか、チャンスを逃さないことでしょうか。AIは確かに問われたことに対して優れた答えを導き出します。しかし、その起点となる「問い」は人間にしか生み出す

ことはできません。それでは人間の「問い」を生み出す根源はどこにあるのでしょうか。それは、様々なことに対する好奇心であると考えます。

私には4人の子供がいます。子供たちと接する中で、彼らの好奇心には常に驚かされています。すでにもっている好奇心を失うことなく、さらに大きく育ってほしいと強く願うばかりです。

元来、子どもは好奇心の塊です。しかし、好奇心を備えたまま大人になる子どもと、好奇心を失い大人になる子どもがいます。その違いはどこにあるのでしょうか。それは、好奇心を抱き、関心を持った事柄に一步でも近づけたという経験があるかどうかです。好奇心を抱き、行動を起こし、その結果、新たな好奇心が生まれ、さらなる次の行動へとつながっていきます。その循環こそがこれからの時代において、激しい変化を楽しみながら乗り越えていくために必要となるのです。

好奇心が向かう対象は様々です。しかし、子供たちが目を輝かせ夢中になるのは自分が未だ体験したことがない事柄です。「これをやったらどうなるのだろう」「やってみよう」その抑えがたい好奇心が子供たちを突き動かしていくのです。この好奇心というエンジンを回す必要があります。エンジンが回転すれば少しずつでも前進します。そして、エンジンを回し続けるためには、子供たちの背中を押し、一緒に楽しみ、時に見守ることが必要です。私たち親が担うべき役割は少なくないのです。無関心である場合ではありません。子どもの可能性を信じ、一緒にワクワクする体験を重ねて、親と子どもと一緒に成長する、そのような海部津島地域になれば、必ずや心躍る未来へと私たちは進んでいくことができるでしょう。

【ご縁を楽しみ全員一丸となつての拡大】

海部津島青年会議所とはどのような居場所なのでしょうか。私はこの海部津島青年会議所で様々な経験をし、ときには困難に遭遇することもありました。しかし、困難を乗り越えるときには、必ずすぐそばに信じてくれる仲間が寄り添ってくれました。共にまちを想い、活動し、高め合える仲間がいる。それが海部津島青年会議所という居場所です。

青年会議所には卒業という制度があります。出会いがあり、別れがあります。停滞は許されず、常に生まれ変わることを宿命づけられた組織です。我々は絶え間なく新しい人財をこの組織に取り込んでいかなくてはなりません。

会員拡大には様々な方法があります。どのような方法でもそれぞれに意味があり、課題があり、成長の糧があります。明確な目標に向かいメンバー一丸となつて会員拡大を押し進めていくことで自分の殻を打ち破り、会員拡大を通してメンバー同士、地域との交流が組織を強くしていくのです。

新しい仲間との出会い、そして、お互いの成長を確認できることはとても嬉しく楽しいことです。しかし、新しい仲間を迎えることは容易ではありません。新しい仲間は海部津島青年会議所に魅力を感じ、私たちの運動に対して共感を抱くことで、初めて青年会議所の門をたたくのです。青年会議所の魅力を感じるポイントはメンバーそれぞれですが、答えは青年会議所活動を通じて得た経験の中にあります。その経験を伝えることで運動に対しての共感を得ることもできます。そして、もちろん受け手も様々です。誰のどのような想いがその人の「心の鍵」を開くのか。まずありったけの想いをぶつけよう。メンバーそれぞれが考える魅力を語り合うことで海部津島青年会議所の魅力を再認識し、自分だけの物語を語るができるようになれば、言葉の重みが増し、経験の積み重ねが自分を変えていくのです。

会員拡大の成果は組織の成長にとどまらず、自身を大きく成長させることができます。しかし、実践なくして達成はありません。自らの主張を体現しようとしている人こそが付いていきたくなる人であり、応援したくなる人です。そして、その人の活躍から勇気をもらうこともできます。まずは、自分が先頭に立って行動を起こしましょう。

持続的な拡大を行なっていくためには、候補者のみならず、行政、地域の人々への発信も欠かせません。日頃の感謝を伝えるとともに、海部津島青年会議所が描くビジョンを伝え、共感を広げていく場が必要です。

青年会議所では40歳までの限られた時間の中で、会員拡大を通して出会った仲間と苦楽を共にし、かけがえのない濃密な時間を過ごします。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響による行動様式の変化によりメンバー同士の関わりは希薄になっているように思えてなりません。事業や各種会議はオンラインでの開催が増え、効率的ではあるものの、熱意の交換ができないのです。今一度、このご縁を大切に、人と人が直接顔を合わせ、互いに刺激し称賛し合い、そして海部津島青年会議所を巣立っていく仲間のこれからの活躍を願う、そのような機会を増やしていきます。

【終わりに】

人生は決断の連続です。

朝、起きる時間から始まり、何を着るのか、何を食べるのかという小さなことから、仕事での意思決定、果ては青年会議所に入会したことも自身の決断の結果です。

社業や家庭のある中での青年会議所活動は時間的にも精神的にも肉体的にも様々な制約が付きまといまいます。愛知県には33の青年会議所があります。その中でもなぜ海部津島青年会議所を選び入会を決めたのでしょうか。それはこの生まれ育ったまちを愛しているからではないのでしょうか。青年会議所の置かれている状況はかつてないほど激変しています。これまでの青年会議所のやり方が通用せず、困難な場面も多くあると思います。それでも入会をした。ゲームは難しい方がクリアし甲斐があり楽しいものです。簡単なゲームなど作業でしかありません。

しかし、その立ち向かう中に「楽しみ」を見つけられた時、青年会議所活動が面白く感じられる気づきの時です。先人からの託された願いや後から続くものの希望を奪ってはなりません。その時は辛いことであっても後には笑い話となり、活動をより楽しいものにするためには一人でも多くの仲間が必要です。さあ目指した未来に向かって全てを背負ってたどり着きましょう。夢中になれる日々が幸せだと噛みしめましょう。

「笑う角には福きたる」ということわざがあります。楽しいから笑うのか、笑うから楽しいのか、言わずもがな、笑うからこそ楽しいのです。メンバーが楽しく活動に取り組むことができれば、その楽しさはまちの人に伝わり、心躍る楽しいまちになるに違いありません。

「楽しむ」と決めよう。

ENJOY

～すみなすものは心なりけり～

基本方針

無限の好奇心ワクワク委員会

子供たちの好奇心を育み、さらなる好奇心につながる循環の方法を策定します。親には好奇心の育て方を理解していただき、親と子どもと一緒に成長できるよう促します。

縁を JOY する拡大交流委員会

青年会議所の魅力を発信し、会員拡大に邁進することでメンバー同士の交流を促します。